

読んでいる間、何回ため息をついただろう。初読み作家さんの作品で、こんなにスルスルと染みこんでくる作品にはそうそう出会えないので、感謝のため息もつきました。

丸善広島店 小林裕子さん

何という衝撃でしょうか。ものすごいものを読んでしまった、という気持ちばかりが先走ってしまい、言葉に表すことができません。繊細な表現の中にある、激しさに毒されてしまいました。願わくば、更紗と文に幸あれ。

文信堂書店長岡店 實山美穂さん

「心が震える」とは、まさにこの小説を読んでいた時の自分の状態を表す言葉だった。言葉にできないことを言葉を尽くして書いた素晴らしい小説。きっと何をどう言っても、この小説の素晴らしさは伝えられない。大傑作。

SerenDip明屋書店アエル店 武方美佐紀さん

僕はこの物語を好きだなんて言うてはいけないのかもしれない。更紗を、文を傷つけない自信がない。それでも、どうしようもなく引きつけられる。

紀伊國屋書店西武渋谷店 竹田勇生さん

いったいどうなってしまうんだ、と続きが気になって一気に読みました。不穏なストーリーのなかで、いまはまだ名づけることのできない人の関係性が、青い月のように輝いていました。こんな強いつながりを得ることができた更紗と文を羨ましく思いました。

宮脇書店松本店 月元健伍さん

言葉の選び方や文体が特に新しいとは思わないのになぜか「新しい!」と感じた。作品全体にある切実さがとても強く心を打つ。読む者を作品の中に引きずり込む力がある作品だと思う。

大垣書店イオンモールKYOTO店 辻 香月さん

一見、難しいテーマのもと、少女の成長の過程も含めて喪失と再生が鮮やかに描かれた作品だと思いました。世間一般の常識とか普通を軽々と超えていくような確立された世界観が魅力的。

明文堂書店富山新庄経堂店 野口陽子さん

二人の関係を表す言葉を見つけられない。でも読み終えて感じた心の奥からこみ上げてくるような安心感と幸せな気持ちこそが、答えの出ない言葉の代わりだと思う。居場所に辿り着いた人の強さと幸せの予感を感じた。

勝木書店本店 樋口麻衣さん

理解も共感も必要ない。親切という騒音から解放された気高い関係をなぜ、だれもかれもが邪魔しようとするのか。お願いだ、二人をそっとしておいてくれ。何度もそう思いながらページをめくった。

精文館書店中島新町店 久田かおりさん

「愛」とか「恋」とか言葉にできる感情を超越した「なにか」を感じた時、本当の幸福を手に入れられるのではないか。この本のおかげで幸せな未来への道のりを見つけられた気がしました。この本はすごい!!です。

喜久屋書店千葉ニュータウン店 堀 一星さん

家族や友人、恋人という言葉にとらわれない、相手を心から想う優しい気持ちが作品の中にあふれていて、私の心もとても温かい気持ちでいっぱいになりました。

紀伊國屋書店福岡本店 宗岡敦子さん

「心」と「絆」は実在するのだと更紗と文を見ていると強く感じました。誰の理解も承認も必要としない、でも二人は互いを強く求める。読まないで得られない波をぜひ味わってほしい。

文教堂書店北野店 若木ひとえさん

読んでる途中で泣きました。そして、読み終わってからも泣きました。二人の結末が幸せであることを何度も何度も願わずにはいられませんでした。

きっと、この感動は私の心にずっと焼きついて離れないことでしょう。

BOOK PORT中野島店 渡辺美由紀さん

心置きなく笑い合える人と一緒にいられる事の幸せ、ほんとにただそれだけが幸せ。世の中の当り前の「幸せ」のくくりがとけて自由になった気がした。

喜久屋書店小樽店 渡邊裕子さん

**作家デビューから12年。  
実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ傑作小説。**